

報道関係各位

北の大地の水族館
飼育展示係 山本直和

行動展示・食育プログラム

食う食われるの命の営み『いただきますライブ』再開のお知らせ

北の大地の水族館では、2024年5月30日(木)よりイトウの大水槽におきまして、生きている命が生きている命を捕食する『いただきますライブ』を再開いたします。

本プログラムは、自然界で毎日繰り返されている「捕食」という生きるためには不可欠な行動を生でお客様にご覧いただくものです。2012年より開催し、メディア等にもこれまで数多く取り上げられてきたプログラムです。これを目的として訪れる方も多く、毎年再開を望む声を多く頂戴している当館の目玉展示の一つです。

私たちヒト以外の生物は「いただきます」という言葉の代わりに、持てる力を最大限に使って餌となる他者を捕食します。北海道を代表とする大魚イトウが、生きて泳ぐ魚を目にも止まらぬ早さで襲う姿は、動かない餌を食べることに慣れた生物からは感じるこのできない命の力強さを見せてくれます。

本プログラムでは、イトウたちの姿を通して命と命の繋がりや私たちも他者の命を利用して、明日へ繋いでいるということを感じていただくため、飼育展示係による解説も交えながら進行していきます。

記

●再開日時 2024年5月30日(木) 14:30～(所要時間 10～15分)

●場所 館内 イトウ大水槽

●開催スケジュール 毎週火・木・土曜日 14:30～(所要時間 10～15分)

※ 本プログラムでは生きたニジマスを経験として与えます。

※ 展示生体の都合により、中止または休止する場合がございます。

※ 館内でのプログラムのため、参加には入館料が必要となります。料金については公式HPをご確認ください。

昨年 10 月 30 日から今日までの休止の理由と再開への経緯

イトウの大水槽へ地下水を主として給水していることから起こる冬季の水温低下と、その後の繁殖期への突入からなる摂餌欲求の低下といった生体の生理的要因から冬～春季は例年休止しておりました。それに加え、昨年は生体の体調管理のため例年より早く休止しておりました。

現在の生体の体調などを鑑みつつ、摂餌の確認が出来ましたので再開する運びに至りました。

イトウについて



全長 1.5m 体重 20 kg までにもなる日本最大の淡水魚として知られ、元来は青森県や岩手県の一部と北海道各地に生息していましたが、環境破壊により生息数が激減したことで現在では北海道のごく限られた一部の河川や湖にしか生息せず、幻の魚とも呼ばれるようになりました。現在、環境省の定めるレッドリストでは絶滅危惧 I B 類に分類され、高いレベルで絶滅が危惧されている魚でもあります。

当館では良好な自然環境と適切な保護保全活動により安定的な個体群が維持されている北海道幌加内町の朱鞠内湖より、朱鞠内湖淡水漁業協同組合様ご協力の下、現在約 80～110 cm のイトウ計 10 匹を大水槽にて展示しています。

●お問い合わせ

北の大地の水族館

「道の駅おんねゆ温泉」指定管理者 留辺蘂商工会議所

〒091-0170 北海道北見市留辺蘂町松山 1-4

TEL : 0157-45-2223

MAIL : onneyu-aq@bz04.plala.or.jp

公式 HP : <https://onneyu-aq.com/>

担当 : 山本直和

以上